

キンバイソウ

Trollius hondoensis Nakai

キンポウゲ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地および個体数はともにきわめて限定されていて少ない。(現況:RO)

形態

茎は直立し、上部で分枝する。根出葉と下部の茎葉には長い葉柄があり、葉身は卵円形で、掌状に5深裂、不ぞろいの鋭い鋸歯がある。花は3~5個が枝の先につき、大きさ約3~4cm、線形の花弁はおしべより長い。萼片は花弁状でふつつ5枚、橙黄色で平開する。

国内分布

本州(中部地方、滋賀県伊吹山)の温帯上部~亜寒帯に生える。

県内分布

白山高地地区の亜高山帯に分布する。

生態など

高さ40~80cmにもなる多年生草本である。開花期は7月~8月。花弁は橙黄色で平開する。果実は袋果で13~26個と多数離生し、無柄、長さ10~12mmで果柱が残る。

生育環境

標高1800~2200mの亜高山の林縁や草地、あるいはまばらな落葉広葉樹林の林床にも生育する。

危険要因

動物食害、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2005年7月24日・白山

分布図はありません。

県内の分布